

1. 日時 : 2018年6月9日(土) 13:00~16:20
2. 場所 : アットビジネスセンター東京駅 305 会議室
3. 出席正会員 : 本間 勲、舘岡唯興志、小野寺登、内藤勝重、袴田勝治、鹿野光正、箱崎公平、北林光雄
四ツ谷辰栄、斉藤 功、鈴木信彦、鈴木久一、生方征夫、岩瀬浩一、石川正男、熊谷司伸
大懸誠愉、松本 彰、伊藤誠一、高橋政幸、田中正延、下川勝彦、正村菊雄、徳地和子、
高橋清尊、植田清宏、池上健三、増田皓三、安田昭雄、関めり子、岩垣成紀、吾郷昭夫、
森野一則、龍田英二、須田雅昭、中村 勇、宮本章樹、正岡建雄、横田修明、中村忠紀、
白水克明、中野浩一、川上明生、東 富雄、藤井晃治、徳田和昭、勢理客友子
以上 47 名 (出席 28 名、委任状出席 19 名)

(注) 委任状出席者は氏名に下線を表示

その他の出席者

(理事) 鴻池清司、尾崎 宏、木村清衣衛、山田展也、佐野昭二、八重樫輝男、中嶋誠次、岡田節男、
石田秀雄、加藤 崧、熊木利隆、皆木しげる、黒木通哲、山田清美、岡 桂子

(監事) 渡辺一弘、今井守雄

以上 17 名出席

議長 : 鴻池会長

議事録署名人 : 熊谷司伸、岩垣成紀

(以上敬称略)

4. 議事の経過及び結果

定刻となり黒木総務委員長より開会の辞があった。

続いて鴻池会長より、高齢化社会を迎え生涯スポーツの関心が高まる中マスターズ陸上もここまで発展してきたことに対し、皆様のご協力に感謝すると挨拶された。

次いで、黒木総務委員長より本日の進行についての説明があり、今期中にお亡くなりになられた役員に対し黙祷が捧げられた。また、定款により総会の議長は会長が務めるとなっていると説明された。

黒木総務委員長より 13 時 00 分現在の出席者数を本人出席 28 名、委任状出席 19 名で合計 47 名が出席であると報告。議長が正会員定数 47 名に対し過半数の出席があり、定足数を満たしたので有効であり本日の総会は成立した旨の報告があった。

次いで、議長議事録署名人として、熊谷司伸氏(新潟)岩垣成紀氏(鳥取)の両氏を選任することを諮り、全員賛成で了承され、議事日程については議長より一日開催であると説明された。

また、佐野専務理事より正会員の交代による新正会員が紹介された。

5. 協議事項

第1号議案 2017年度(平成29年度)事業報告(案)について

資料に基づき佐野専務理事より、説明された。

専門委員会報告については、各専門委員長より説明された。

下記、競技規則等に関する質問が出された。

- ・競技規則の改正点の説明については、資料を基に報告事項で説明する。
- ・日本記録や10傑の扱いについて、個人情報もあり管理を徹底していただきたい。
- ・WMAルールとの違いについて、連合では日本独自のルールもあると説明があった。

・連合では18歳からの参加が認められているが、その意義は？

高校卒業し学連や実業団に加盟しない陸上競技愛好者の活躍できる場として、18歳からの参加を認めている。

・近年全日本大会の参加者が増え、サブトラックやバックストレートを使用し競技をしているが、選手は満足の出来る大会として納得しているか？

よりグレードを上げる大会として競技委員会としても検討している。

等の意見が出され協議された。

他に意見はなく採決の結果、第1号議案は原案の通り全員賛成で承認された。

第2号議案 2017年度（平成29年度）収支決算（案）について

資料に基づき斉藤財務委員長欠席により佐野専務理事より説明された。

単年度決算では黒字決算となり、内閣府より次年度決算では余剰金を出さないようにと指導されていると説明された。

次いで今井監事より監査報告された。

特に意見もなく採決の結果、第2号議案は原案の通り全員賛成で承認された。

第3号議案 2016年度（平成28年度）決算報告書一部修正について

資料に基づき岡事務局長から、内閣府より指摘のあった2016年度決算報告書一部誤りについて説明された。

定期預金の満期案内を残高証明と勘違いしたため、利息が計上されていなかった。利息が計上されている決算書に修正し、総会議決を得て、内閣府に再提出することとなっている。

今井監事より、2016年度決算報告書一部修正の監査報告がされた。

以上、第3号議案は、全員賛成で承認された。

第4号議案 2018年度（平成30年度）補正予算について

資料に基づき佐野専務理事より説明された。

2017年度決算において余剰金が発生した。内閣府から指摘されている余剰金を残さないため、2018年度の補正予算を組むこととし、内容が説明がれた。

以上、第4号議案は全員賛成で原案通り承認された。

第5号議案 諸規程の制定について

資料に基づき佐野専務理事より、公益法人になって初めての内閣府実地検査時に指摘を受けた下記の諸規程（案）について説明された。

- ・経理規程
- ・公印管理規程
- ・財産運用管理規程
- ・役員、専門委員等の旅費、謝金規程

この規程は附則通り2018年4月1日から適用する。

それぞれの規程ごとに採決され、第5号議案は全員賛成で原案通り承認された。

—休憩—

第 6 号議案 日本マスターズ陸上競技連合創立 40 周年記念事業について

資料に基づき佐野専務理事より説明された。

30 周年の事業を参考に原案を作成している。

第 40 回記念全日本マスターズ陸上競技選手権大会については、参加者が大幅に増えることが見込まれ、3 日間で競技が消化できるかどうかという声もあり開催日程を 4 日間に、また記念大会の節目には国際大会としている経緯もあり、地元群馬マスターズにおいて検討していただいている。

地元、岡田理事からは 4 日間開催は群馬陸協の内諾をいただいているが、補助員の確保について、また経費がかさむこともあり、群馬マスターズ理事会で最終の検討をすることになっている。

他の内容については、新役員で検討し準備を進めることで、第 6 号議案は全員賛成をもって承認された。

第 7 号議案 第 20 期（2018 年度・2019 年度）理事改選について

役員改選の前に、黒木総務委員長より定款に基づき役員改選の選出方法について説明された。

佐野専務理事より地域推薦理事候補者の説明があり、次いで理事会で承認された学識経験者理事候補者及び監事候補者が説明された。

理事候補者 20 名について審議が行われ、各候補者ごとに採決の結果

岡田剛候補者は、全員賛成で承認された。

寺島美則候補者は、全員賛成で承認された。

岡田節男候補者は、全員賛成で承認された。

中嶋誠次候補者は、全員賛成で承認された。

伊藤誠一候補者は、全員賛成で承認された。

佐野昭二候補者は、全員賛成で承認された。

山田榮一郎候補者は、全員賛成で承認された。

木村清衣衛候補者は、全員賛成で承認された。

熊木利隆候補者は、全員賛成で承認された。

皆木しげる候補者は、全員賛成で承認された。

海面豊候補者は、全員賛成で承認された。

黒木通哲候補者は、全員賛成で承認された。

山田清美候補者は、全員賛成で承認された。

増田明美こと木脇明美候補者は、全員賛成で承認された。

岡桂子候補者は、全員賛成で承認された。

坂本修一候補者は、全員賛成で承認された。

松本俊裕候補者は、全員賛成で承認された。

室伏重信候補者は、全員賛成で承認された。

尾崎宏候補者は、全員賛成で承認された。

鴻池清司候補者は、全員賛成で承認された。

続いて監事について、候補者が提示された。

監事 3 名について審議が行われ、各候補者ごとに採決の結果

田上静之候補者は、全員賛成で承認された。

斎藤忠彦候補者は、全員賛成で承認された。

今井守雄候補者は、全員賛成で承認された。

以上で、第7号議案第20期役員に就任する理事および監事について全候補者は、異議なく全員賛成で承認された。

第8号議案 その他

①WEBメディア情報発信サービスについて

資料に基づき佐野専務理事より説明された。

マスコミ対応を委託しているフルタイムより提案があり、WEB上においてマスターズ陸上や各都道府県連盟のPRをして知名度向上につなげたい。また各連盟の情報発信を自らするという意識改革になるのではないかと説明された。

事業計画にある広報活動に重点を置くことであり、詳細は普及広報委員会と事務局がフルタイムと協議して実施することで、第8号議案は全員賛成で承認された。

6.【報告事項】

報告事項1. 国際・第38回全日本マスターズ陸上競技選手権大会について

資料に基づき開催県の岡事務局長より大会決算報告がされ、了承された。

報告事項2. 第39回全日本マスターズ陸上競技選手権大会について

資料に基づき開催県の岩垣正会員から大会の進捗状況について説明がされ、現在のところ申込者が少ないので多くの参加者を望むと要請があり、了承された。

報告事項3. 第31回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会・第7回全日本マスターズロードレース大会について

資料に基づき開催県の佐野専務理事より大会要項の確認がされ、了承された。

報告事項4. 講習会「みんなの陸上教室」開催について

資料に基づき佐野専務理事より内容についての説明があり、了承された。

報告事項5. 日本選手権大会へのマスターズ種目導入の要請について

資料に基づき佐野専務理事より、今年度より日本陸連への全員登録も開始され、選手のモチベーションの上がる計画を日本陸連に要請し、2019年度の福岡大会から実施できるよう協議を進めていることで了承された。

報告事項6. 2018年度競技規則改正について

資料に基づき中嶋競技委員長より説明された。

日本陸連登録実施に伴い、日本陸連競技運営ルールに基づいた競技規則になっているが、高齢者には適用が難しい規則もあることから、14. 競技運営についての項目でマスターズ主催大会等については、競技注意事項に掲載することで緩和できるようにしている。

この競技規則は、第29回通常理事会で承認されており、4月1日から適用することで了承された。

報告事項7. 栄章委員会からの推薦について

黒木総務委員長が栄章委員長を務めることを会長から任命され、下記推薦者の答申書が会長に提出され第29回通常理事会で承認されたと報告され、了承された。

秩父宮章 岡 桂子（常務理事・事務局長）

日本スポーツグランプリ賞 田崎 元一（山形マスターズ会長 91歳。永年ハードル競技で日本記録を更新し、現在も日本記録保持者である。）

報告事項8. 第23回世界マスターズ陸上競技選手権大会について

資料に基づき岡事務局長より、大会エントリー受付中であると説明され、了承された。

報告事項 9. 2018 国際ゴールドマスターズ奈良大会について

エントリーブックに基づき岡事務局長より大会について説明され、協力要請があり了承された。

報告事項 10. その他

①佐野専務理事より個人情報のトラブルについて報告があり、今後はより一層連合および関連業者の個人情報取り扱い管理について注意を強化するとの報告がされた。

また、登録名簿をメールで連合に送付の際は必ずパスワードをつけることも要請され了承された。

7. 2017 年度長期在籍者(30 年・20 年)表彰

資料に基づき岡事務局長より表彰者の報告があり、30 年長期在籍者表彰者を代表して、鳥取マスターズ陸上競技連盟 岩垣成紀氏に会長から表彰状と記念バッジが授与された。

8. その他 (連絡事項他)

今期で退任される役員のあいさつがあり、新理事による自己紹介が行われた。

閉会にあたり尾崎副会長から挨拶があった。

岡事務局長より総会の審議がすべて終了し、この後は新理事による臨時理事会を開催し新役員の選出に移りたいと説明された。

議事のすべてを終了したので、黒木総務委員長が16時20分閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長および議事録署名人は署名、押印する。

2018年(平成30年) 6月20日

公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合

第25回通常総会

議長

三島池清司



議事録署名人

熊谷司伸



議事録署名人

岩垣成紀

